



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月14日

上場会社名 株式会社駒井ハルテック 上場取引所 東
 コード番号 5915 URL <https://komaihaltec.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中村 責任
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 飯塚 勉 TEL 03-3833-5101

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	31,154	△24.1	△371	—	△93	—	907	92.0
2024年3月期第3四半期	41,071	53.3	50	—	685	—	472	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 △272百万円(—%) 2024年3月期第3四半期 1,619百万円(750.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	194.24	—
2024年3月期第3四半期	101.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	69,003	31,503	45.7	6,741.35
2024年3月期	76,832	33,074	42.3	6,969.56

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 31,503百万円 2024年3月期 32,530百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2025年3月期	—	35.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	45.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2025年3月期期末配当金を1株当たり45円(うち、10円は特別配当)といたします。詳細につきましては本日開示しております「業績予想の修正及び期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	△29.6	△270	—	60	△95.4	970	55.1	207.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	4,972,709株	2024年3月期	4,972,709株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	299,480株	2024年3月期	305,161株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	4,670,984株	2024年3月期3Q	4,665,391株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
3. その他	11
受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、食品を中心とした値上げが続き、物価上昇が個人消費の重荷となる一方、再び進む円安を背景にインバウンド消費や企業業績の改善に伴い、設備投資が持ち直すことによって、ゆるやかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、物価の上振れが長期化していることで、日常消費の重荷となっている状況は依然として解消されていないものと思われまます。今後につきましては、個人消費や設備投資といった内需の持ち直しとインバウンド消費がけん引し、ゆるやかな回復基調が続くものと考えられますが、人手不足の深刻化や日銀の追加利上げ、米国トランプ政権の政策や、東欧、中東での紛争のゆくえ、中国の景気の動向など国内外の不確実性が増していることは企業の収益計画、設備投資計画などにおける不安要素となると考えられます。

橋梁・鉄骨業界におきましては、橋梁の発注量は前年同四半期比を下回っております。また、鉄骨の発注量も材料費の高止まりや人件費の上昇などにより大型再開発計画の見直しや延期が相次ぎ前年同四半期を下回っているものと思われまます。

このような事業環境のなか、当第3四半期連結累計期間の受注高は222億8千6百万円（前年同四半期比31.6%減）となりました。売上高は総額311億5千4百万円（同24.1%減）となりました。

損益につきましては、労務費の上昇や鋼材価格を始めとする原材料費が高い水準で推移していることに加え、大型鉄骨工事の工事原価が先行して発生していること、販売費及び一般管理費の研究開発費が増加していることなどにより営業損失3億7千1百万円（前年同四半期は5千万円の利益）、経常損失9千3百万円（同6億8千5百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券の一部を売却したことによる特別利益を計上したことなどにより9億7百万円（前年同四半期比92.0%増）となりました。

セグメント別の概要は次のとおりであります。

— 橋梁事業 —

当第3四半期連結累計期間の受注高は、鳥取県国道180号(福長～菅沢工区)橋梁上部工事（1号橋）（交付金改良）、千葉県国道道路道路改築工事（仮称土屋橋上部工）他の工事で46億2千5百万円（前年同四半期比48.7%減）となりました。

売上高は、西日本高速道路株式会社九州支社令和4年度東九州自動車道香下大橋他1橋（鋼上部工）工事、滋賀県令和3年度第S201-38号大津能登川長浜線補助道路整備工事他の工事で123億3千6百万円（同20.3%減）となり、これにより受注残高は141億円（同39.1%減）となっております。

— 鉄骨事業 —

当第3四半期連結累計期間の受注高は、八重洲一丁目北地区第一種市街地再開発事業他の工事で176億3千1百万円（前年同四半期比22.8%減）となりました。

売上高は、品川開発プロジェクト4街区大庇鉄骨工事他の工事で、183億9千9百万円（同26.6%減）となりました。これにより受注残高は265億3百万円（同19.6%減）となっております。

— インフラ環境事業 —

風力発電等による環境事業、インフラを中心とした海外事業における当第3四半期連結累計期間の受注高は、2千9百万円（前年同四半期比95.9%減）、売上高は2千1百万円（同83.3%減）となり、これにより受注残高は6億8千2百万円（同4.7%減）となっております。

— 不動産事業 —

当社グループは、大阪市淀川区にある大阪事業所の未利用地部分等について賃貸による不動産事業を行っており、当第3四半期連結累計期間における不動産事業の売上高は3億5百万円（前年同四半期比0.8%減）となっております。

— その他 —

当社グループは、その他の事業として印刷事業等を行っており、当第3四半期連結累計期間におけるその他の売上高は、9千2百万円（前年同四半期比8.2%減）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は前連結会計年度末より78億2千8百万円減少し、690億3百万円となりました。

資産の部では、前連結会計年度末より受取手形・完成工事未収入金及び契約資産が59億7千2百万円減少したことなどにより、流動資産が71億4百万円減少し、424億1千4百万円となりました。固定資産は前連結会計年度末より7億2千4百万円減少し、265億8千9百万円となりました。

負債の部では、前連結会計年度末より支払手形・工事未払金が34億6千8百万円減少したことなどにより、流動負債が56億9千7百万円減少し、201億7千7百万円となりました。固定負債は173億2千2百万円となり、負債合計は前連結会計年度末より62億5千8百万円減少し、374億9千9百万円となりました。

純資産の部では、前連結会計年度末よりその他有価証券評価差額金が11億5千9百万円減少したことなどにより、純資産は15億7千万円減少し、315億3百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2024年11月13日に公表した業績予測を修正いたしましたのでお知らせいたします。詳細につきましては、本日（2025年2月14日）公表いたしました「業績予想の修正及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	6,594	7,908
受取手形・完成工事未収入金及び契約資産	34,143	28,171
電子記録債権	3,797	3,419
未成工事支出金	612	551
材料貯蔵品	1,005	1,399
未収入金	258	109
その他	3,109	858
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	49,519	42,414
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	3,724	4,204
機械・運搬具（純額）	1,202	1,319
土地	8,585	8,585
その他（純額）	3,180	4,164
有形固定資産合計	16,692	18,274
無形固定資産		
のれん	136	34
その他	271	232
無形固定資産合計	407	266
投資その他の資産		
投資有価証券	9,872	7,743
その他	349	313
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	10,213	8,048
固定資産合計	27,313	26,589
資産合計	76,832	69,003

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	7,418	3,950
電子記録債務	4,993	3,536
短期借入金	6,726	6,552
1年内償還予定の社債	2,100	1,850
未成工事受入金	528	795
工事損失引当金	53	25
引当金	421	210
その他	3,632	3,257
流動負債合計	25,874	20,177
固定負債		
社債	4,650	3,400
長期借入金	6,984	8,274
繰延税金負債	2,896	2,395
退職給付に係る負債	2,276	2,288
その他	1,077	964
固定負債合計	17,883	17,322
負債合計	43,758	37,499
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,619	6,619
資本剰余金	8,205	7,779
利益剰余金	12,988	13,553
自己株式	△690	△677
株主資本合計	27,123	27,275
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,293	4,133
退職給付に係る調整累計額	114	94
その他の包括利益累計額合計	5,407	4,228
非支配株主持分	543	-
純資産合計	33,074	31,503
負債純資産合計	76,832	69,003

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
完成工事高	41,071	31,154
完成工事原価	38,454	28,651
完成工事総利益	2,617	2,503
販売費及び一般管理費	2,566	2,874
営業利益又は営業損失(△)	50	△371
営業外収益		
受取配当金	244	317
受取家賃	39	40
材料屑売却益	89	81
債権取立益	310	21
補助金収入	93	108
売電収入	44	10
雑収入	15	23
営業外収益合計	836	603
営業外費用		
支払利息	84	134
社債発行費	36	-
支払手数料	80	190
雑支出	1	0
営業外費用合計	202	325
経常利益又は経常損失(△)	685	△93
特別利益		
固定資産売却益	4	0
投資有価証券売却益	-	1,635
補助金収入	-	497
特別利益合計	4	2,132
特別損失		
固定資産除売却損	12	143
固定資産圧縮損	-	495
システム障害対応費用	-	36
その他	-	7
特別損失合計	12	682
税金等調整前四半期純利益	678	1,356
法人税、住民税及び事業税	87	417
法人税等調整額	70	31
法人税等合計	158	449
四半期純利益	520	907
非支配株主に帰属する四半期純利益	47	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	472	907

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	520	907
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,087	△1,159
退職給付に係る調整額	11	△20
その他の包括利益合計	1,098	△1,179
四半期包括利益	1,619	△272
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,571	△272
非支配株主に係る四半期包括利益	47	-

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業的前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2024年6月18日付で連結子会社であるKHファシリテック株式会社の株式を追加取得し、完全子会社といたしました。この結果、第1四半期連結会計期間において資本剰余金が423百万円減少しております。

（会計方針の変更）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	515百万円	699百万円
のれんの償却額	229 〃	102 〃

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注3)
	橋梁事業	鉄骨事業	インフラ 環境事業	不動産 事業	計				
売上高									
一時点で移転される財	62	193	86	—	343	100	444	—	444
一定期間にわたり 移転される財	15,411	24,867	39	—	40,319	—	40,319	—	40,319
顧客との契約から生じる 収益	15,474	25,061	126	—	40,662	100	40,763	—	40,763
その他の収益	—	—	—	308	308	—	308	—	308
外部顧客への売上高	15,474	25,061	126	308	40,970	100	41,071	—	41,071
セグメント間の内 部売上高又は振替高	—	—	—	3	3	104	108	△108	—
計	15,474	25,061	126	311	40,974	205	41,179	△108	41,071
セグメント利益 又は損失（△）	1,290	△201	△192	243	1,139	△2	1,137	△1,086	50

（注） 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、印刷事業等を含んでおりま
す。

2 セグメント利益又は損失の調整額△1,086百万円には、セグメント間取引消去△11百万円、各報告セグメン
トに配分していない全社費用△1,074百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属
しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注3)
	橋梁事業	鉄骨事業	インフラ 環境事業	不動産 事業	計				
売上高									
一時点で移転される財	150	269	21	—	441	92	534	—	534
一定期間にわたり 移転される財	12,185	18,129	—	—	30,314	—	30,314	—	30,314
顧客との契約から生じる 収益	12,336	18,399	21	—	30,756	92	30,849	—	30,849
その他の収益	—	—	—	305	305	—	305	—	305
外部顧客への売上高	12,336	18,399	21	305	31,062	92	31,154	—	31,154
セグメント間の内 部売上高又は振替高	—	—	—	2	2	100	103	△103	—
計	12,336	18,399	21	308	31,065	193	31,258	△103	31,154
セグメント利益 又は損失 (△)	1,511	△383	△269	242	1,100	△4	1,095	△1,467	△371

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、印刷事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△1,467百万円には、セグメント間取引消去△19百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,447百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. その他

受注及び販売の状況

1. 受注高及び受注残高

当第3四半期連結累計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

項 目		前第3四半期 連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)		前連結会計年度 (自2023年4月1日 至2024年3月31日)	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
受 注 高	橋 梁 事 業	9,019	27.7	4,625	20.8	12,668	32.0
	鉄 骨 事 業	22,848	70.1	17,631	79.1	26,272	66.2
	インフラ環境事業	726	2.2	29	0.1	727	1.8
	合 計	32,594	100.0	22,286	100.0	39,668	100.0

項 目		前第3四半期 連結累計期間 (2023年12月31日現在)		当第3四半期 連結累計期間 (2024年12月31日現在)		前連結会計年度 (2024年3月31日現在)	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
受 注 残 高	橋 梁 事 業	23,165	40.7	14,100	34.1	21,810	43.8
	鉄 骨 事 業	32,981	58.0	26,503	64.2	27,272	54.8
	インフラ環境事業	716	1.3	682	1.7	674	1.4
	合 計	56,863	100.0	41,287	100.0	49,756	100.0

2. 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

項 目		前第3四半期 連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)		前連結会計年度 (自2023年4月1日 至2024年3月31日)	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋 梁 事 業		15,474	37.7	12,336	39.6	20,478	37.0
鉄 骨 事 業		25,061	61.0	18,399	59.0	34,194	61.8
インフラ環境事業		126	0.3	21	0.1	170	0.3
不 動 産 事 業		308	0.8	305	1.0	410	0.7
そ の 他		100	0.2	92	0.3	129	0.2
合 計		41,071	100.0	31,154	100.0	55,384	100.0